※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Ｊｏｙ　ｏｆ　Ｍｕｓｉｃ　（教育芸術社）						
副教材等	音楽の鑑賞資料と基礎学習　（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の４つの分野を年間通して学習します。
■ 学習の到達度は、実技テスト、演奏発表、鑑賞レポート、創作作品、筆記テスト(小テスト)で評価します。
■ 音楽を通して様々なものを吸収し、音楽の良さや美しさを深く味わい感じたことを言語化すること、また、個性豊かに音楽表現を創意工夫する技能を身に付けることを目標とします。
■ 音楽が、生涯にわたり皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2)音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
(3)主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や 要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	歌唱	ポピュラー音楽およびミュージカルナンバー ・島人ぬ宝 ・桜の栞 ・アイノカタチ ・Tonight ・Somewhere	a:曲想と音楽の構造、及び、音楽の多様性について理解している。（知識） a:楽曲から感受したことを表現するための歌唱の技能を身に付けている。（技能） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように表すか、表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、歌唱に関心を持って、主体的・協働的に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート 楽典ペーパーテスト	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	器楽	ギターアンサンブル(三重奏) ・空とぶ宅急便	a:楽器の構造や音色の良し悪し、及び、奏法について理解している。（知識） a:「メロディ」「低音」「分散和音」のそれぞれを演奏する場合に必要な技能を身に付けている。（技能） b:旋律が生み出す雰囲気や特質などを知覚し、それらの働きを感受し、どのように演奏するか表現意図をもっている。 c:ギターアンサンブルに興味・関心を持ち、演奏に主体的・協働的に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート 楽典ペーパーテスト	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	鑑賞	ミュージカル鑑賞およびグループディスカッション ・ウエストサイド物語 （1961 年版）	a:ミュージカルの起源・表現の特徴について理解している。（知識） b:表現の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさを味わい鑑賞している。 c:作品および楽曲に興味・関心を持ち、他者の感じ方や捉え方を知り尊重するとともに、ミュージカル鑑賞に主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート グループディスカッション	観察 ワークシート グループディスカッション
2学期	歌唱	二部合唱 日本のポップスおよび日本の歌曲を題材に（歌唱方法の工夫） ・時代 ・この道	a:曲想と音楽の構造について理解している。（知識） a:音程をとり他者とハーモニを奏でる技能、楽曲に適した発音の技能、楽曲から感受したことを表現するための技能を身に付けている。（技能） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように表すか、表現意図をもっている。 c:仲間でハーモニーを奏でる楽しさをい味わい、合唱に関心を持って、主体的・協働的に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	器楽と創作	ギター弾き語りおよび伴奏リズムの創作 ・オワリはじまり	a:楽器の構造や音色の良し悪し、及び、奏法について理解している。（知識） a:ギターのコード弾き、弾き語りで音楽を表現するために必要な技能および美し音色で演奏する技能を身に付けている。（技能） b:旋律が生み出す雰囲気や特質などを知覚し、それらの働きを感受し、どのように伴奏リズムを工夫（創作）し演奏するか表現意図をもっている。 c:ギター弾き語りに興味・関心を持ち、演奏に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート 楽典ペーパーテスト	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	鑑賞	「日本の祭と音楽」「世界各地の祭と音楽」の鑑賞およびグループディスカッション	a:文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） b:表現の特徴を知覚し、感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさを味わい鑑賞している。 c:日本及び諸外国の郷土音楽に興味・関心を持ち、他者の感じ方や捉え方を知り尊重するとともに、音楽鑑賞に主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート グループディスカッション	観察 ワークシート グループディスカッション

※令和４年度以降入学生用

３学期	歌唱	日本歌曲と外国の歌曲 発音・発声・言葉の乗せ方 ・初恋（日本） ・Sento nel core（イタリア） ・Das Veilchen（ドイツ）	a:曲想と音楽の構造、言葉の発音方法、及び、音楽と言葉の多様性について理解している。（知識） a:美しい言葉の発音を意識しつつ、楽曲から感受したことを表現するための歌唱の技能を身に付けている。（技能） b:音楽を形づくっている要素や各国の言葉の発音を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように表すか、表現意図をもっている。 c:様々な国の言語に関心を持ち、歌う楽しさを味わい、歌唱に関心を持って、主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート 楽典ペーパーテスト	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	鑑賞（発表を交えて）	「私の好きなジャンルの音楽」 ・各々が 400 字以内で、自分の好きなジャンルの音楽について紹介文を作り、発表する。その際、そのジャンルの音楽を、わかりやすく、また、自分以外の人に興味を持ってもらえるように、紹介文を考える。 ・わかりやすく紹介された発表、また、興味をもったジャンルの発表に、投票する。	a:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） b:表現の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さを味わい鑑賞している。 c:それぞれのジャンルおよび楽曲に興味・関心を持ち、他者の感じ方や捉え方を知り尊重するとともに、発表と鑑賞に、主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート グループディスカッション	観察 ワークシート グループディスカッション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度